

## PosLogicc — 航空写真測量に対応したGPSデータ記録装置

PosLogiccは、GPS rawデータ記録機能、イベント時刻記録機能、シャッター信号変換機能を併せ持った、汎用GPSロガー製品です。小型・軽量で、市販のモバイルバッテリー(USB給電)で駆動するため、様々なUAV・カメラ機材を用いた航空写真測量の他にスタティック測位用として幅広く利用いただけます。

### 1. GPS rawデータ記録機能

- ・u-blox形式で記録されるため、一般的なGPS解析ソフト(RTKLIB等)による後処理が可能
- ・以下の2機能を併用しないGPSデータ記録のみの動作が可能のため、スタティック測位用の機材としても有用

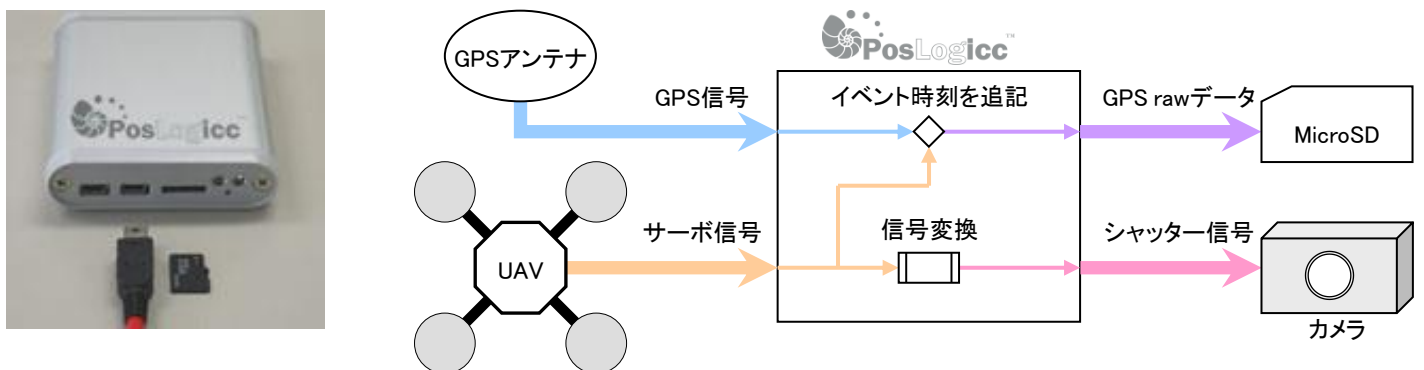
### 2. イベント時刻記録機能

- ・GPS rawデータの記録中にイベント信号が入力された際、その瞬間のGPS時刻をデータ中に追記
- ・イベント信号として受け取れる形式はラジコン用サーボ信号であるため、様々なUAVとの組み合わせが容易

### 3. シャッター信号変換機能

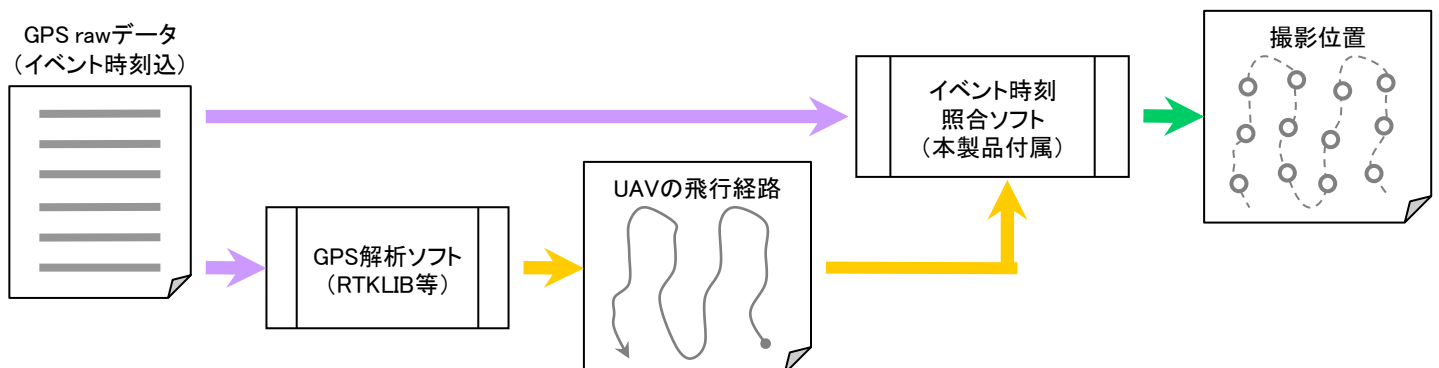
- ・入力されるイベント信号を、カメラの外部シャッター(レリーズ)信号へと変換/出力
- ・変換設定の書き換えにより様々なカメラに対応可能なため、これ1台で観測用カメラの幅広い選択枝を実現

UAV・カメラと接続して運用する場合、PosLogiccはGPS rawデータを連続的に記録しつつ、UAVからサーボ信号が入力されるのを待ちます。サーボ信号が入力されると、その信号をカメラに適したシャッター信号に変換し送るとともに、その瞬間のGPS時刻をGPSデータに追記します。



このようにして記録されたGPSデータをGPS解析ソフトに入力して後処理することにより、UAVの飛行経路を高精度で得ることができます。この飛行経路の情報と、GPSデータ内に追記されたイベント時刻の情報とを照合することにより、カメラのシャッターが切られた場所(空中)＝各写真の撮影位置の正確な情報を得ることができるので、撮影された写真と組み合わせて航空写真測量を行うことが可能になります。

本製品には、この照合を自動化するソフトも付属します。



# PosLogicc 仕様

外寸	幅7cm × 厚さ3cm × 奥行12cm
重量	105g(アンテナ・バッテリー・ケーブル類を除く)
内容物	本体 GPSアンテナ イベント時刻照合ソフトウェア 各種ケーブル
インタフェース	SMA端子(GPS信号入力) サーボ端子(シャッター信号入力) USBミニB端子 x 2 (電源入力 x 1, シャッター信号出力 x 1) MicroSDカードスロット(データ記録)
GPS形式	1周波(L1測位)
データ形式	u-blox(イベント時刻はTIM-TM2)
対応カメラ	Canon EOSシリーズ, Kissシリーズ, PowerShot A/G/Sシリーズ, 他 Nikon Dシリーズ, COOLPIXシリーズ, 他 Ricoh GXシリーズ, 他 Sony NEXシリーズ, 他  ※詳細およびその他のカメラについては、お問い合わせください。

※GPS解析ソフトとしてRTKLIBを用いた処理結果にて、イベント時刻照合ソフトの動作を確認しております。  
 ※シャッター変換設定を変更するソフトウェアは、インターネット上から最新版をダウンロードいただけます。

## PARSシステムの変遷(有人機 ~ UAV) 2006年 ~ 現在

弊社は、これまで写真測量ソフトの開発、UAVによる写真測量・リモートセンシングの先駆けとして、2006年より大学、研究機関、及び企業を対象としたPARS (Photogrammetry And Remote Sensing) のビジネスを展開しています。

